**令和４年度　認定こども園すみれ保育園　園の評価**

評価基準

　　a・・・十分できている　　　　　　ｂ・・・できているが十分ではない

ｃ・・・あまりできていない　　　　ｄ・・・ほとんどできていない。改善を要する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 　　　　　　　評価項目 | 総合評価 | 個人の改善点 |
| 保育の理念・基本方針 | 園の保育理念や保育目標をしっかりと理解できていますか。 | ｂ | ・園内研修ですみれの保育について皆で話し合い理解が深められたので、次年度もより理解を深めて保育していきたい。・次年度も子ども主体で保育士同士が同じ方向性で保育していきたい。 |
| 子どもの人権に十分配慮するとともに、互いに尊重する心を育てるように配慮していますか。 | a |
| 保育の内容（健康） | 子どもの発育や状態、家庭での食事、睡眠などの状態について保護者から情報を得るようにしていますか。 | b | ・ひとりひとりと向き合うこと、寄り添うことを大切にしていく。・ゆとりをもって待つ姿勢を更に意識したい。・登園時に傷を見落としてしまい、家での怪我なのか園での怪我なのか分からないことがあったので気を付ける。・雨天時など室内浴びが中心となる際は遊び場の確保が難しかったので、職員間で話し合い連携を図っていく。 |
| 登園時、子どもの健康観察（機嫌、顔色など）を行っていますか。 | a |
| 保育中、子どもの様子（機嫌、食欲など）の把握をしていますか。 | a |
| 一人ひとりの生理的欲求（食欲や睡眠）が満たされるよう配慮していますか。 | b |
| 子どもが伸び伸びとからだを動かせるよう、時間、場所、遊びを確保していますか。 | a |
| 外遊びや散歩など、戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか。 | a |
| 生活面において、子どもが自分でできることは自分でしようとする意欲や姿勢を十分に見守っていますか。 | a |
| 保育の内容（環境） | 一人ひとりの子どもが伸び伸びと遊べるよう見守っていますか。 | a | ・子どもの興味に合わせて環境を整えることを心がけたい。・現状に満足せず、子ども自身が楽しいと思えるよう心がけていく。・室内遊びがマンネリ化してしまった。手作り玩具や身近な素材をもっと利用していきたい。・延長保育を乳児室でしているため、夕方使用した小さな玩具が落ちていて誤飲危険があったので、他のクラスの玩具を使用する際は片付けも気を付ける。・0歳児は低月齢児に合わせてしまい、高月齢児は物足りなかったのではと反省した。 |
| いろいろな遊びの中で、全身を使って体を動かすことができるよう配慮していますか。 | b |
| 戸外でのいろいろな遊びを意欲的に楽しむことができる機会を設けていますか。 | b |
| 子どもが全身を介して直接自然と触れ合う体験をする機会を設けていますか。 | a |
| 子どもがいろいろな物に触れながらその性質や仕組みに興味が持てるよう配慮していますか。 | a |
| 子どもの発達に適した玩具や遊具を用意し、好きな遊びができるようにしていますか。 | b |
| 保育の内容（人間関係） | 園生活の中で、子どもが充実感を味わえるような体験を取り入れていますか。 | b | ・子ども同士のやりとりを見守る意識を高める。・毎日を心地よく過ごせるよう心掛けていたが、すべてを快い方へ導こうとしてしまい、子どもの「○○してほしい」や「イヤ」と言える機会を奪ってしまったように感じた。・保育教諭や友だちの存在が心のよりどころになるよう考えていく。 |
| 子どもが保育教諭や友だちと共に過ごすことを楽しめるような配慮をしていますか。 | a |
| 保育教諭の言動の一つ一つを子どもはモデルとして学んでいることを知っていますか。 | a |
| つまずきや葛藤、けんかなどの経験が成長に欠かせないものととらえ適切に対応していますか。 | ｂ |
| 子どもが思ったことを友だちに伝え、相手の思っていることにも気づくように援助していますか。 | a |
| 保育の内容（言葉） | 子どもの発達や理解力に合わせた言葉を使うよう心がけていますか。 | b | ・時々大きな声を出してしまうので気をつける。・声かけの内容、声の大きさ、分かりやすい言葉選びなど配慮するべきところがある。他の保育者から学び、参考にしていきたい。・子どもの思いを代弁するあまり、子どもが発信するチャンスを奪わないよう配慮する。・子どものことを大事に思っていることが伝わるような穏やかな口調、言葉遣いを心掛けたい。・子どもの思いを見極めて声掛けが出来るよう努力したい。 |
| 子どもの表情や姿をよく観察し、その場に適した言葉がけをするよう心がけていますか。 | b |
| 子どもの気持ちに寄り添いながら疑問や質問に答えたり、一緒に考えるよう心がけていますか。 | b |
| 正しい言葉づかいや声の大きさに配慮していますか。 | ｂ |
| 子どもが見たり考えたりしたことなどを自分なりに言葉で表現しようとするよう援助していますか。 | a |
| 絵本の読み聞かせなどを通して、言葉への興味や関心を育てるよう心がけていますか。 | a |
| 保育の内容（表現） | 子どもが歌ったりリズムに合わせて体を動かしたりして、表現の楽しさに気付くよう配慮していますか。 | ｂ | ・様々な素材に触れ感触などを楽しめるようにしたが、子どもたちが発見し、自由に思う存分取り組めたかを考えると難しい。・子どもたちのいろいろな考え、感じ方を取り入れ受容していきたい。・様々な素材、教材遊びを通して楽しめる機会を増やしていきたい。・わらべうたでのふれあい遊びの機会を増やしていきたい。・0歳児は身振り手振りで表現することが多い。保育者間で子どもの思いの伝え方を共有しておき、ひとりひとりの表現に気付けるようにしたい。 |
| 子どもの表現を受け止め、共感し、表現することの楽しさを味わえるよう配慮していますか。 | ｂ |
| 様々な音、色、形、手触り、動き、香りに気付いたり、心地よさを感じる機会を作っていますか。 | ｂ |
| 水、砂、土、紙など自然の素材に触れて楽しむ機会を取り入れるよう心がけていますか。 | ｂ |
| 感じたことや考えたことを自由に表現できる機会を設けていますか。 | ｂ |
| 保育の内容（乳児保育） | 一人ひとりの乳児の発育や発達の状態をよく観察したうえで、常に体の状態を細かく観察していますか。 | a | ・朝の視診や保護者への確認が十分でない時があったので気付けるようにする。・離乳食の進み方を家庭に上手く説明できなかったので、栄養士とも確認をしながら進め方を学んでいきたい。 |
| たて抱き、腹這いなど子どもが様々な姿勢をとれるようにしていますか。 | a |
| 乳児を寝かせる場合には安全に配慮し、呼吸と体位のチェックを行い、記録をしていますか。 | b |
| 外気に触れたり戸外遊びを行う機会を設けていますか。 | a |
| 離乳食については、家庭と連携を取りながら一人ひとりの子どもの状況に配慮して行っていますか。 | a |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 保育の内容（１．２歳児） | 基本的な生活習慣の習得については、一人ひとりの子どもの発達過程に応じて行っていますか。 | a | ・ゆったりとした雰囲気を心掛け、「自分でしたい」を引き出せるようにする。・身のまわりのことを自分で出来るが「やって」と要求されてしまうと受容しすぎてしまうことがあるので、一緒にしたり褒めたりして伸ばしていきたい。 |
| 子どもの意欲や自分でやりたいという気持ちを尊重しながら、適切な援助を行っていますか。 | a |
| 衣服の着脱にあたって、丁寧にやり方を教え、自分でしようとする気持ちを尊重していますか。 | a |
| ゆったりとした気持ちで自分から便器に座ったり排泄したりできるよう配慮していますか。 | ｂ |
| 楽しい雰囲気の中で自分で食事をしようとする気持ちを大切にしていますか。 | ｂ |
| 保育の内容（３歳以上児） | 生活に必要な習慣や態度を身につけ、適切な行動を選択できるよう配慮していますか。 | a |  |
| 決まりがあることの大切に気づき、自ら判断して行動できるよう配慮していますか。 | ｂ |
| 感じたことや想像したことなどを表現できるよう、様々な環境の設定に留意していますか。 | ｂ |
| 保育が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに留意していますか。 | ｂ |
| 保育の計画及び評価 | 園の保育課程を理解していますか。 | ｂ | ・子どもの姿をしっかり見て、話し合いながら保育を組み立てていきたい。・話し合うことで計画、反省、評価につながり実りのあるものにしていきたい。・保育の反省が午前中の活動に偏ってしまった。食事、睡眠などの姿も意識していく。 |
| 指導計画を作成する際、長期的な指導計画と短期的な指導計画を作成していますか。 | a |
| 一人ひとりの子どもの状態を踏まえ、個別的に作成していますか。（0～2歳児） | a |
| 指導計画に子どもの発達過程などを見通した具体的な「ねらい」と「内容」を設定していますか。 | a |
| 子どもの発達、興味、関心に基づいて指導計画を見直し、次の指導計画の作成に活かしていますか。 | a |
| 障がいかある子どもがいる場合、その子どもの特性に合わせた個別支援のための計画を立てていますか。 | ｂ |
| 自身の保育を振り返り、反省や評価を行い、次の指導計画の作成に活かしていますか。 | ｂ |
| 健康及び安全 | 子どもの日々の健康状態を把握し、一人ひとりの保育に活かしていますか。 | a | ・コロナウイルスの流行で消毒は意識していたが、流行が落ち着いている時は意識が薄れてしまったので気を付ける。・安全面においてもう少し意識をもって日常的に確認、点検を怠らないよう気を付ける。・定期的に玩具の点検をすることが出来なかったので、時間を確保して行っていく。・散歩先などの異常を十分に見ていなかったので、子どもを見るだけではなく環境にも目を向ける。・分担にとらわれずに汚れていたら清潔にしていきたいという意識を職員全員が持てるようにしたい。・災害時の対応はある程度理解しているがまだ認識不足を感じる。日頃から緊急時に対する意識を高めていきたい。・散歩先、散歩中の緊急時の判断などもっと予測し話し合っていきたい。 |
| 感染症に対する知識を持ち、その症状や流行時期などを把握していますか。 | b |
| 午睡中、子どもの顔色や呼吸の状態をきめ細かく観察していますか。 | b |
| 保育に従事する者として、服装や身支度に配慮し、自らの健康と清潔を常に心がけていますか。 | a |
| 保育室、トイレなどを清掃し、常に清潔を保つようにしていますか。 | a |
| 子どもが使用する玩具などを消毒し、常に清潔を保つようにしていますか。 | b |
| おむつの交換や嘔吐物などの処理の際、手洗いや使い捨て手袋などの使用など衛生に配慮していますか。 | a |
| 園内の整備、玩具、用具など定期的に確認し、破損の有無を確認していますか。 | b |
| 日常的に利用する散歩経路や公園などの異常や危険などを定期的に点検していますか。 | b |
| 災害が発生した場合の対応方法を理解していますか。 | b |
| 食事が保育の内容の一環であり、食育として位置づけられていることを理解していますか。 | a |
| 子どもが落ち着いて食事やおやつを楽しめるよう配慮していますか。 | a |
| 子どもが残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったりしないよう配慮していますか。 | a |
| 食事の食べ具合など、必要に応じて保護者に伝えていますか。 | a |
| 保護者支援保護者支援 | 送迎の際の会話や連絡帳を通して、保育の内容や子どもの様子などを保護者に伝えていますか。 | a | ・連絡ノートだけではなく、表情をみてコミュニケーションをとることを大切にする。・保護者との連携を今まで以上に心がける。・子どもの姿を伝えながら一緒に喜び合うことを大切にしていきたい。 |
| 保護者が子育ての悩みなどを安心して話せる存在となれるよう努めていますか。 | b |
| 保護者の子どもに対する虐待の早期発見に努めていますか。 | a |
| 職員の資質向上 | 自身の人間性や倫理観が子どもに影響を与えることを自覚していますか。 | a |  |
| 園内外における研修に目的を持って積極的に参加していますか。 | b |
| 自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決に取り組んでいますか。 | b |

○各クラスの保育と振り返り

|  |  |
| --- | --- |
| ０歳児クラス | ・乳児クラスで何を一番大切にしたいのか、担任間で共有できており連携が取れていたので子どもたちが安心して過ごすことができた。・午睡部屋にマットを敷き空間を広げたことにより、子どもたちの遊び・動きが広がった。また、その場がちょっとした休息をとる場所に活用することもできた。・離乳食の検食もあると良いと思う。 |
| １歳児クラス | ・子どもに合わせて保育をすることの大切さに気付くことができた。・子どもの声や姿に合わせて活動を考えたことにより、子どもが遊びこむことができた。・保育者がゆったり関わる様子を子どもたちが見て、ゆったりとした雰囲気・優しい声掛けが子どもの中にも広がっていった。・子どもの負の姿を大人が責めずに関わることで、子ども同士も“されたことは嫌だが、この子が嫌ではない”　“こういう所もあるけど、良い所もあるね”と思えるようになってきた。全体的に落ち着いて過ごすことができ、嬉しさや面白さが膨らんで温かい時間を子どもたちと共に過ごすことができた。 |
| ２歳児クラス | ・一人ひとりの要求があり、皆へ満たすよう心掛けたが対応が難しかった。・一年間を通して、午睡が難しい子が多く、早く起きてしまう児への（どこで過ごすか等）対応が大変だった。・他クラスと合同で一緒に楽しむ時とクラスのみで行う事との活動の見極め。線引きが難しい。・心を開いてくれない環境（特定の家庭）の保護者とのやり取りの難しさを感じた。 |
| 異年齢児クラス | ・子ども主体の保育ができた。来年度も継続したい。・子どもたちからのアイデアを発展させることができたので、禁止事項も少なくなってきた。・一人の発見がみんなに広がり、友だち同士で教え合う姿が見られた。・朝の人数確認・健康・連絡事項などノートのチェックをもう少ししっかり行うことができると良かった。 |

○今後の課題と目標

・コロナ感染対策の制限が緩和されつつある中で、コロナ前に行っていたことをどこまで戻していくか？

例）給食のバイキング、食後の歯磨き、健康カード、送迎時の対応等。

・行事がないからこそ保育参加を積極的に取り入れ、普段の保育を保護者に見て頂くことを増やしていったらどうか。例）マラソン大会、親子で一緒にクッキング、プチ発表会等。

・一日のスタートが切りやすいよう、９時までの登園を徹底する。

・職員同士の話し合い‥言いにくいこともより良い保育の為なら互いに言い合える関係性+

を築いていく。